

# 平成23年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会参加報告

(社) 埼玉県放射線技師会

編集・情報委員会常任理事 潮田 陽一

平成23年10月15日～16日、コラニー文化ホール（旧山梨県立県民文化ホール）にて、平成23年度関東甲信越診療放射線技師学術大会が開催された。

本会会員のシンポジストや演題も多く、大変盛況な学術大会であった。

特別講演Ⅰでは、社団法人日本放射線技師会副会長である 小川 清 本会会長が「技師会活動の見える化」と題し、造影剤注射針抜針などのグレーゾーン明確化や、レントゲン週間開催といった国民へのPR活動など、現在日本放射線技師会が取り組んでいる事業について、どこよりも早く公に講演を行った。

今回は福島第一原子力発電所事故発生後に開催された学術大会という事もあり、放射線被ばくへの関心が特に高く、NHKのデータ放送で今大会の開催が報道されるなど、今までとは違う雰囲気が感じられた。

その中で、特別講演Ⅱとして本会会員の 諸澄 邦彦 氏（日本放射線公衆安全学会会長）が、「福島原発事故による放射線被ばくを考える」と題し、講演を行った。第27回埼玉放射線学術大会においては、『「福島原発事故による放射線被ばくとその影響」—診療放射線技師の取り組み—』と題した諸澄氏の特別講演が予定されており、市民にも分かりやすい講演が聴けるものと思われる。

なお今回のプログラムは下記の通りである。

次回は栃木県にて、「日本の今、医療界の今、そして未来へ」のテーマで開催が予定されている。診療放射線技師を取り囲む日本と医療界の現状を見つめ、将来・未来に向けて、今必要なもの、足りないもの、そして学ぶべきものを見つける大会を目指すとのことであり、こちらも今から期待が持てる。

## 平成23年度関東甲信越診療放射線技師学術大会プログラム

10月15日	受付 大ホール前 参加登録 PC受付	第一会場 大ホール (1階)	第二会場 小ホール (1階)	第三会場 会議室 (3階)	機器展示 大ホール ホワイレ	情報交換会場 ロイヤルガーデンホテル
9:00					機器展示準備	
9:30		教育セミナー1 大抵 基幹 「放射線測定器の基礎と応用」 サーベイメータの特性について	一般演題 (1) MRI検査 (1)	一般演題 (6) 核医学		
10:00		教育セミナー2 中田 裕正 「正しい放射線計測の実践」 サーベイメータの測定法	一般演題 (2) X線CT検査 (1)	一般演題 (7) 医療画像・モニタ		
11:00		教育セミナー3 濱田 順理 「原子力災害時における サーベイメータの使用法」 日本放射線技師会第1次放射線 サーベイメータ演習録の報告から	一般演題 (3) X線CT検査 (2)	一般演題 (8) 放射線管理、他		
11:30						
11:50						
12:00						
12:30						
13:00		開会式				
13:30		特別講演Ⅰ 小川 清 「技師会活動の見える化」			機器展示 10:00～17:00	
14:00			教育講演 小日 宏 「世界から見た 放射線治療の安全性」 近年の動向と日本の今後	一般演題 (9) 放射線測定・管理		
14:30				一般演題 (10) 公衆安全		
15:00		シンポジウムⅠ 「日常業務に潜む危険」 もう一度から見直す 安全・安心の医療	一般演題 (4) MRI検査 (2)	一般演題 (11) 放射線治療 (1)		
15:30				一般演題 (12) 放射線治療 (2)		
16:00			X線透視検査・乳房撮影			
16:30						
17:00		特別講演Ⅱ 諸澄 邦彦 「福島原発事故による 放射線被ばくを考える」				
17:30						
						情報交換会 18:00～20:00

10月16日	受付 大ホール前 PC受付	第一会場 大ホール (1階)	第二会場 小ホール (1階)	第三会場 会議室 (3階)	機器展示 大ホール ホワイレ
8:30					
9:00			一般演題 (13) X線CT検査 (3)	一般演題 (15) MRI検査 (3)	
9:30		市民公開講演 保田 浩志 「放射線被ばくの健康影響」 100ミリシーベルトは安全か	一般演題 (14) 表示装置、他	一般演題 (16) MRI検査 (4)	機器展示
10:00					
10:30					
11:00		市民公開講座 高橋 真理子 「宙(そら)みて、いのちを思う」 人をつなぐ星、自分みつめる星	シンポジウムⅡ 「医療被ばく低減施設 認定に向けて」 今、我々に求められる 安全性と役割	一般演題 (17) FPD・血管造影 リスクマネージメント	
11:30					
12:00					
12:30		閉会式			

## 第71回日本放射線技師会定期総会報告

(社) 埼玉県放射線技師会  
副会長 橋本 里見

平成23年12月11日(日)に第71回社団法人日本放射線技師会臨時総会が、東京都港区の笹川記念会館国際ホールにて開催された。

はじめに、小川副会長の開会の辞、次に中澤会長の挨拶が行われた。

会長は、東日本大震災における社団法人日本放射線技師会の取り組み、チーム医療推進会議に対する取り組み、技師法改正についての3項目について述べた。東日本大震災については、避難者に対する放射線サーベイヤーと、検案前のご遺体に対するサーベイヤーを派遣し、福島第一原発事故への協力を行ってきたことを報告した。また福島第一原発内診療所へ、診療放射線技師の派遣を継続して行っていることを報告した。さらに今後の活動方法について検討を行っていることを述べた。チーム医療推進会議に関しては、現在業務がクロスオーバーする領域に対し、厚生労働省と話し合いを続けており、良い方向に進んでいることを報告した。また技師法改正については数年かけて検討して行くと述べた。

次に、資格審査委員会・総会運営委員会委員長が、代議員の出席と委任状の確認がされたことを報告した。宮崎県放射線技師会の紫垣氏と広島県放射線技師会の木口氏が議長に立候補者し、議長資格を満たしており立候補者であり、立候補が2名だったことから議長として選任された。

続いて紫垣議長が総会職員候補者を読み上げ提案し、挙手による賛成多数の結果、議事に入った。今回の臨時総会は2部制となっており、第1部の解散準備総会から議事がはじまった。

解散準備総会第1号議案の「社団法人日本放射線技師会の解散について」では、中澤会長が提案理由である、公益社団法人への移行申請について述べた。質問がなく採決に入り賛成多数で承認された。

設立準備総会の第1号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の設立について」では、中澤会長が提案理由の移行登記について述べた。質疑応答では、大阪府放射線技師会の代議員から名称に「診療」を付けるか否かについて質問をし、中澤会長が今回の申請では付けず、来年の定期総会で名称変更を予定していると回答した。続いて採決に入り賛成多数で承認された。

第2号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の「定款」ならびに「諸規程」の一部変更について」では、大塚常務理事が、内閣府からの指導により、定款ならびに役員報酬規程の一部を変更したと報告した。

第3号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の理事の選任について」では、理事定数22名以上25名以内(外部理事3名以内)の規定に沿って25名の理事就任を提案した。

第4号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の監事の選任について」では、会員幹事候補の福岡県放射線技師会所属 新開英秀氏を提案した。

第5号議案の「公益社団法人日本放射線技師会の会計監査人の選任について」では、監査候補者に大光監査法人の亀岡保夫氏を提案した。

第2号議案から5号議案までに質疑はなく、賛成多数により全て承認された。

最後に、井戸副会長による閉会の辞で、第71回臨時総会が終了した。

この臨時総会において全ての議事が承認されたことにより、日本放射線技師会は公益社団法人化に向かうこととなる。今後における日本放射線技師会の、公益法人としての更なる発展を予想させる総会であったと感じた。



中澤会長挨拶



総会開催中



第28回診療放射線技師  
学術大会開催案内 (愛知県)